GitHub のソフトウェア開発における貢献度分析

PM コース 矢吹研究室 1342100 春川 直幸

1 研究の背景

ソフトウェア開発では、複数のメンバが同時に開発を行うため、ファイルの最新バージョンが分からなくなる、同一ファイルに対する変更が競合する等の問題が発生する.このような問題を解決するため、バージョン管理システムを用いる[1].バージョン管理システムとは、変更履歴を管理するシステムのことである.具体的にはソフトウェアのソースコードを書き足したり、変更したりする過程を記録していき、特定の段階まで戻ったり、誤って消してしまったファイルを復活させたりなど、ソフトウェア開発の現場において無くてはならない機能である[2].

バージョン管理システムを提供するサービスに、GitHub がある。GitHub では git log コマンドというものがある。git log コマンドとは、リポジトリのコミットされたログを確認できるコマンドである。誰がいつコミットやマージをしてどのような差分を発生したのか確認できる[2]。この git log コマンドを解析することにより、コミットによる開発者の貢献度を求め、GitHub でのソフトウェア開発でもパレートの法則が成り立つのか調査する。

2 研究の目的

GitHub を用いたソフトウェア開発プロジェクトにおいて,コミット数によるプロジェクトへの貢献度を可視化し, 結果を分析する.

3 プロジェクトマネジメントとの関連

コミットによるプロジェクトの貢献度を分析しパレート図を作成することにより, GitHub を用いたソフトウェア開発プロジェクトで,管理上の優先度を明示させる.これはプロジェクトマネジメントの知識エリアにおいて,品質マネジメントに該当する.

4 研究の方法

本研究は2段階に分かれる.

- 1. シェル (Shell) を使用し, GitHub 上のプロジェクトから, 開発者数とコミット回数を調査する.
- 2. 調査したデータの分析をする.

調査したデータの分析は,デシル分析で行う.デシル分析とは,購買履歴データをもとに全顧客の購入金額を高い順に 10 等分して、各ランク(デシル $1 \sim 10$)の購入比率や売上高構成比を算出する主にマーケティングで使用する分析方法のことである [3].今回はデシル分析でコミット数の多い順に 10 等分して,各ランク(デシル $1 \sim$ デシル 10)のコミット比率を算出し,コミット貢献度を明らかにする.

5 現在の進捗状況

GitHub 上の 10 個のプロジェクトから,プロジェクトの開発者数、コミット数を調査し,デシル分析を行った.開発者人数は最少 1 人,最大 3503 人だった.コミット数は最小 1,最大 54421 だった.

10件のプロジェクトをデシル分析し平均を算出した、結果は、表1である、表1をグラフ化したものが図2になる、分析結果から、デシル1の構成比が88%になっており、約9割の成果は1割の開発者によって生み出されていることがわかった。

こうなった要因として調査したすべてのプロジェクトでオーナーのコミット数が一位だったことが関係していると

考える.コミット数が一位だった開発者の構成比の平均を求めた結果,42.4%だった.

このことから, GitHub におけるソフトウェア開発では,パレートの法則とは若干違う結果になっていると言えるであろう.

セグメント	計コミット数	構成比	累積構成比
デシル 1	7833	88.0 %	88.0 %
デシル 2	321	3.6 %	91.6 %
デシル3	171	1.9 %	93.5 %
デシル 4	124	1.4 %	94.9 %
デシル 5	93	1.0 %	95.9 %
デシル 6	73	0.8 %	96.8 %
デシル7	73	0.8 %	97.6 %
デシル8	73	0.8 %	98.4 %
デシル 9	73	0.8 %	99.2 %
デシル 10	71	0.8 %	100 %

表1 デシル分析表



図 1 デシル分析 グラフ

6 今後の計画

以下のように研究を進める計画である.

- 1. データを自動で集められるように環境を整える.
- 2. 調査対象となるプロジェクトの数を増やしたり,他の分析手法も用いて分析を行う.
- 3. 論文の執筆を行う.

参考文献

- [1] 池田尚史,藤倉和明,井上史彰. チーム開発実践入門 共同作業を円滑に行うツール・メソッド. 技術評論社, 2014.
- [2] 大塚弘記. GitHub 実践入門 Pull Request による開発の変革. 技術評論社, 2014.
- [3] デシル分析|マーケティング用語集. https://www.synergy-marketing.co.jp/glossary/decyl-analysis/.